

平成 29 年度上野学園大学短期大学部学生による 「授業評価アンケート」実施報告書

1. はじめに

本学では、学生による「授業評価アンケート」を前期と後期の年 2 回実施している。平成 29 年度は、紙媒体により調査を行った。のべ 1153 名の学生が、本学の教育を可視化する作業に協力してくれた。授業改善の循環とするべく、集計、分析した結果をここに報告する。

2. 実施期間と実施対象科目

実施期間を授業最終回の前後 2 週間程度設定した。

前期：平成 29 年 7 月以降の各授業時間内

後期：平成 29 年 11 月末以降の各授業時間内

3. 実施手順

講義

1. 教員は講義の始めに、最後の 15 分間をアンケート回答に充てる旨を説明する。
2. 講義終了後、教員は学生にアンケート用紙を配付し、教室を退出する。
3. 学生はアンケート用紙に手書きで回答する。
4. 予め教員に指名された回収係の学生が、記入済アンケート用紙を所定の封筒に入れ、糊付けをする。
5. 回収係の学生は、封筒上に「回収した枚数」を手書きで記入、封筒を大学事務部窓口に提出する。

実技

1. 教員はレッスン時に学生にアンケート用紙（封筒入り）を配付する。
 2. 学生は、レッスン終了後、空き教室、ラウンジ、食堂等に移動して、アンケート用紙に手書きで回答する。
 3. 学生は記入済アンケート用紙を自分で封筒に戻して糊付けをする。
 4. 学生は、封筒を大学事務部窓口に提出する。
- アンケートは、選択式と自由記述の 2 種類の回答方式で構成され、また、講義と実技とで設問を別にした。自由記述では学生の要望・意見を求めた。

4. 集計方法

コンピュータで集計した。なお、学生個人を特定するデータは一切取り出されていない。

5. 教員への結果通知

授業ごとの集計結果及び自由記述は、各教員に平成 30 年度初頭に配付した。自由記述は、学生個人名が特定できないようになっている。

6. 今後の方針

このアンケートにより、教員は学生の授業に対する評価、感想、要望を知り、授業計画の修正や授業方法の改善を図ることができる。

FD 委員会委員長が指定した授業科目の担当教員は、「授業改善計画書」を作成する。それらは、学内者専用ホームページ上で公開される。

7. 平成 29 年度「授業評価アンケート」全体集計結果

◆回収率

	回答数	回答者数	回収率
全体	1153	1376	83.79%
講義	979	1138	86.02%
実技	174	238	73.10%

◆学年別回答数

	回答数	1年次生	2年次生	不明・他
全体	1153	767	338	48
割合		66.52%	29.31%	4.16%
講義	979	659	280	40
割合		67.31%	28.60%	4.09%
実技	174	108	58	8
割合		62.07%	33.33%	4.60%

◆授業形態別授業評価・講義

項目	選択肢	回答数	割合
I-1. 授業の目的と内容をよく理解 できる授業であった	そう思う	685	69.97%
	ややそう思う	175	17.88%
	どちらとも言えない	67	6.84%
	あまりそう思わない	39	3.98%
	そう思わない	12	1.23%
	不明（未回答）	1	0.10%
I-2. 先生の話し方ははっきりして おり、説明はわかりやすい	そう思う	673	68.74%
	ややそう思う	168	17.16%
	どちらとも言えない	94	9.60%
	あまりそう思わない	31	3.17%
	そう思わない	11	1.12%
	不明（未回答）	2	0.20%
I-3. 板書は分かりやすい	そう思う	569	58.12%
	ややそう思う	182	18.59%
	どちらとも言えない	145	14.81%
	あまりそう思わない	49	5.01%
	そう思わない	23	2.35%
	不明（未回答）	11	1.12%
I-4. 教科書・プリント・楽譜・CD やDVD・スライド等が効果的 に使用されている	そう思う	677	69.15%
	ややそう思う	154	15.73%
	どちらとも言えない	107	10.93%
	あまりそう思わない	25	2.55%
	そう思わない	13	1.33%
	不明（未回答）	3	0.31%

I-5. 先生は授業時間を守っている	そう思う	773	78.96%
	ややそう思う	130	13.28%
	どちらとも言えない	55	5.62%
	あまりそう思わない	15	1.53%
	そう思わない	5	0.51%
	不明（未回答）	1	0.10%
I-6. 授業に対する先生の熱意が感じられる	そう思う	763	77.94%
	ややそう思う	128	13.07%
	どちらとも言えない	68	6.95%
	あまりそう思わない	15	1.53%
	そう思わない	4	0.41%
	不明（未回答）	1	0.10%
I-7. 先生は私語をやめさせるなど、学習に適した環境作りをしている	そう思う	722	73.75%
	ややそう思う	162	16.55%
	どちらとも言えない	73	7.46%
	あまりそう思わない	17	1.74%
	そう思わない	5	0.51%
	不明（未回答）	0	0.00%
I-8. 授業の教室は適切だ（広さ、明るさ、空調、AV 機材等）	そう思う	733	74.87%
	ややそう思う	144	14.71%
	どちらとも言えない	71	7.25%
	あまりそう思わない	24	2.45%
	そう思わない	7	0.72%
	不明（未回答）	0	0.00%
I-9. 満足できる授業であった	そう思う	678	69.25%
	ややそう思う	177	18.08%
	どちらとも言えない	78	7.97%
	あまりそう思わない	31	3.17%
	そう思わない	14	1.43%
	不明（未回答）	1	0.10%

◆授業形態別授業評価・実技

項目	選択肢	回答数	割合
I-1. 授業に対する先生の熱意が感じられる	そう思う	168	96.55%
	ややそう思う	5	2.87%
	どちらとも言えない	0	0.00%
	あまりそう思わない	0	0.00%
	そう思わない	0	0.00%
	不明（未回答）	1	0.57%
I-2. 毎回、実技予習を十分に行うべく課題を与えられる	そう思う	162	93.10%
	ややそう思う	8	4.60%
	どちらとも言えない	2	1.15%
	あまりそう思わない	1	0.57%
	そう思わない	9	0.00%
	不明（未回答）	1	0.57%

I-3. 授業の目的と内容がよく理解 できる授業であった	そう思う	165	94.83%
	ややそう思う	6	3.45%
	どちらとも言えない	1	0.57%
	あまりそう思わない	1	0.57%
	そう思わない	0	0.00%
	不明 (未回答)	1	0.57%
I-4. 先生の指導は分かりやすく、 はっきり聞きとれる	そう思う	159	91.38%
	ややそう思う	11	6.32%
	どちらとも言えない	3	1.72%
	あまりそう思わない	0	0.00%
	そう思わない	0	0.00%
	不明 (未回答)	1	0.57%
I-5. 先生は授業時間を守っている	そう思う	152	87.36%
	ややそう思う	19	10.92%
	どちらとも言えない	2	1.15%
	あまりそう思わない	0	0.00%
	そう思わない	0	0.00%
	不明 (未回答)	1	0.57%
I-6. 先生は学生の質問にきちんと 答えている	そう思う	163	93.68%
	ややそう思う	10	5.75%
	どちらとも言えない	0	0.00%
	あまりそう思わない	0	0.00%
	そう思わない	0	0.00%
	不明 (未回答)	1	0.57%
I-7. 満足できる授業であった	そう思う	167	95.98%
	ややそう思う	4	2.30%
	どちらとも言えない	1	0.57%
	あまりそう思わない	0	0.00%
	そう思わない	1	0.57%
	不明 (未回答)	1	0.57%
I-8. このレッスンが理由で、一般 授業を欠席・遅刻・早退した ことがあるか	そう思う	113	65.32%
	ややそう思う	8	4.62%
	どちらとも言えない	0	0.00%
	あまりそう思わない	1	0.58%
	そう思わない	0	0.00%
	不明 (未回答)	51	29.48%

◆アンケート結果

各項目における〈そう思う〉と〈ややそう思う〉の割合を合わせると、講義Ⅰ－3を除けば、軒並み80%を超えている。講義Ⅰ－5、6、7、実技では概ね90%超、特に実技に関しては、100%に近い数値となっており、満足度が高い授業・レッスン内容だったと言えよう。ただし、講義Ⅰ－1、2、3、4、9は、若干、否定的傾向が読み取れる。

◆自由記述

講義、実技とも、自由記述式の設定を2つ用意した。回答は担当教員に伝えられている。

Ⅱ. この授業で特に良かった点があれば自由に書いて下さい。

Ⅲ. この授業や担当教員に対して、今後、改めて欲しい点があれば書いて下さい。

◆気付き

回収率が良好で、信用性の高い結果と言えよう。

学年別回答数を見ると、講義、実技とも1年次生が高く、2年次生は、講義28%、実技33%と低くなっている。このことは、2年次生になると、履修科目数が1年次生よりも少なくなってくる点を考慮すべきであろう。

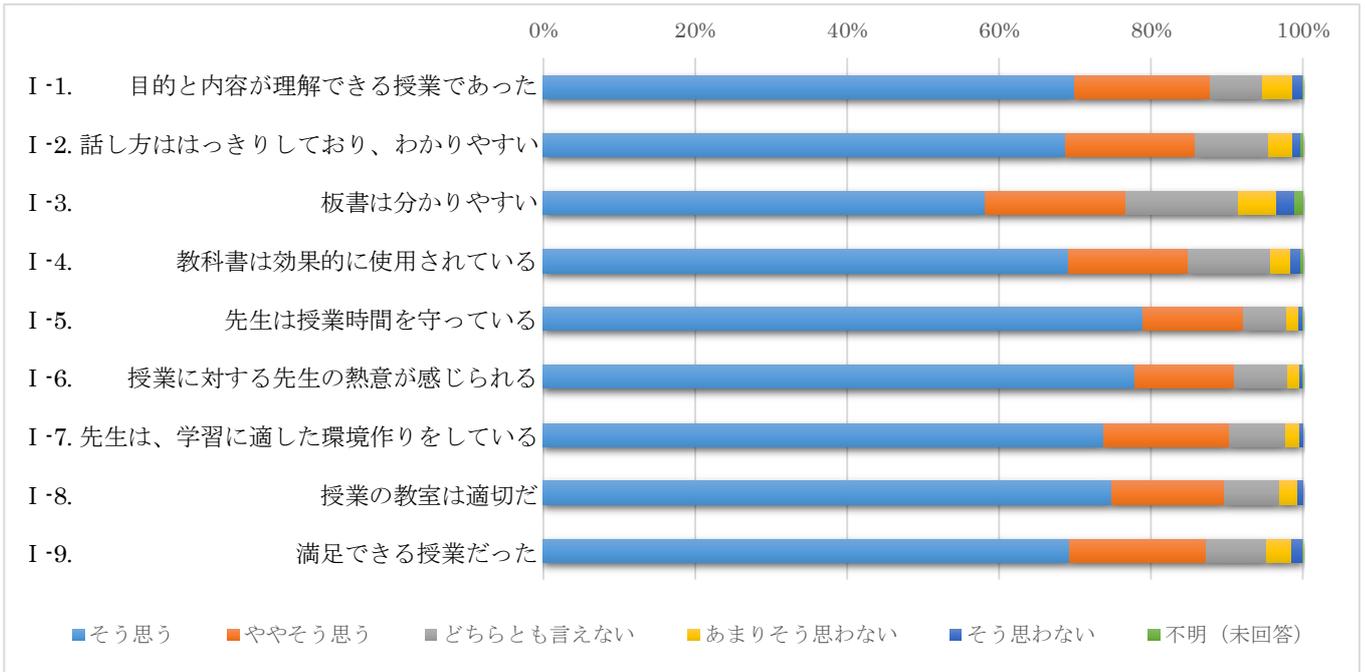
講義より実技の満足度が高い。実技は、Ⅰ－8を除き、〈そう思う〉と〈ややそう思う〉の割合がすべて97%以上となっている。

8. おわりに

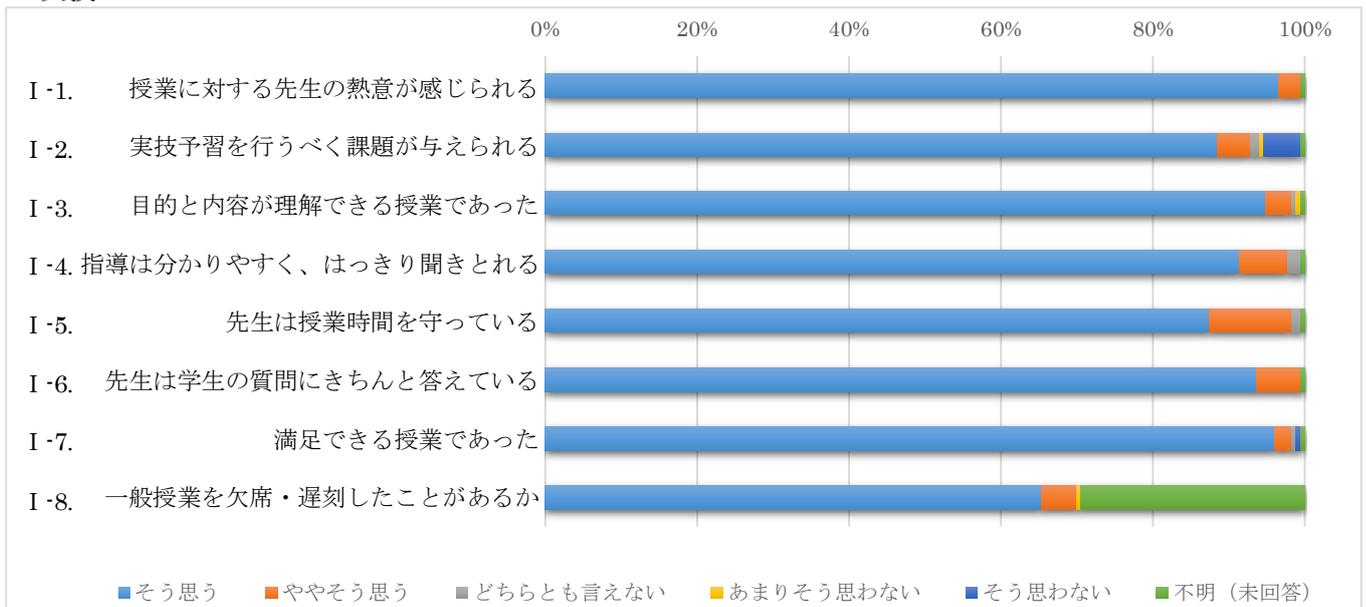
本学では、教員・学生の相互理解により、一層充実した授業を提供していきたいと考えている。

平成30年1月26日 FD委員会

講義



実技



学生による授業評価（一般授業用）

授業科目コード		※○印で囲んでください。 前期 後期 通年 集中	担当教員コード	
---------	--	-----------------------------	---------	--

あなたの所属 <small>※○印で囲んでください。</small>	大学	器楽 声楽 MR・GLA 演奏家 音楽専攻科	(1 2 3 4 専)
	短大	ピアノ専門 器楽専門 声楽専門	(1 2)年次生

もっともあてはまるところに○をつけてください。

そう
思
う

 や
や
そ
う
思
う

 ど
ち
ら
と
も
言
え
な
い

 あ
ま
り
そ
う
思
わ
な
い

 そ
う
思
わ
な
い

I. もっともあてはまるところに○をつけてください。

1. 授業の目的と内容をよく理解できる授業であった。	5	4	3	2	1
2. 先生の話し方ははっきりしており、説明はわかりやすい。	5	4	3	2	1
3. 板書は分かりやすい。	5	4	3	2	1
4. 教科書・プリント・楽譜・CDやDVD・スライド等が効果的に使用されている。	5	4	3	2	1
5. 先生は授業時間を守っている。	5	4	3	2	1
6. 授業に対する先生の熱意が感じられる。	5	4	3	2	1
7. 先生は学生の私語をやめさせるなど、学習に適した環境作りをしている。	5	4	3	2	1
8. 授業の教室は適切だ（広さ、明るさ、空調、AV 機材等）。	5	4	3	2	1
9. 満足できる授業であった。	5	4	3	2	1

II. この授業で特に良かった点があれば自由に書いて下さい。

III. この授業や担当教員に対して、今後、改めて欲しい点があれば書いて下さい。

学生による授業評価（個人実技・実技授業用）

授業科目コード		※○印で囲んでください。 前期 後期 通年 集中	担当教員コード	
あなたの所属 ※○印で囲んでください。	大学	器楽 声楽 MR・GLA 演奏家 音楽専攻科	(1 2 3 4 専)	
	短大	ピアノ専門 器楽専門 声楽専門	(1 2)年次生	

I. もっともあてはまるところに○をつけてください。

	5	4	3	2	1
1. 授業に対する先生の熱意が感じられる。	5	4	3	2	1
2. 毎回、実技予習を十分に行うべく課題を与えられる。	5	4	3	2	1
3. 授業の目的と内容がよく理解できる授業であった。	5	4	3	2	1
4. 先生の指導は分かりやすく、はっきり聞きとれる。	5	4	3	2	1
5. 先生は授業時間を守っている。	5	4	3	2	1
6. 先生は学生の質問にきちんと答えている。	5	4	3	2	1
7. 満足できる授業であった。	5	4	3	2	1
8. このレッスンは理由で、一般授業を欠席・遅刻・早退したことはあるか。 ※「実技授業(㊦アンサンブル、弦楽合奏、ハーブ・アンサンブル、管楽合奏(木管A~D、金管)、打楽器合奏、古楽合奏、声楽特殊練習Ⅰ~Ⅲ ㊧器楽合奏Ⅰa.b.c、Ⅱa.b.c、声楽特殊演習)」受講生は、この項目に答える必要はありません。	5 なかった	4 ほとんどなかった	3 どちらとも言えない	2 少しあった	1 たびたびあった

II. この授業で特に良かった点があれば自由に書いて下さい。

III. この授業や担当教員に対して、今後、改めて欲しい点があれば書いて下さい。